

令和7年度 第3回 政策決定会議 会議録

◆開催日時：令和7年11月18日（火） 9：56～10：17

◆開催場所：市長公室

◆出席委員：佐野市長、藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長

◆説明者：生嶋市民健康部長、中浜健康推進課長、西川参事、三富士予防担当長

◆審議事項

岸和田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について・・・・・・・・健康推進課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈藤浪副市長〉コロナ禍の時にはかなり対策に混乱したと思う。当時の教育委員会においても、保健所と連絡がつかなかったり、学校でこどもが発症した時の対処についても情報が錯綜したり、かなり苦労したと記憶している。そのあたりも踏まえ、来年度以降に業務継続計画等、いろいろ詳細な部分を策定すると聞いているが、いざという時に自分は何をすればよいのかということをきちんと理解できるよう、職員への周知も含めてお願いしたい。

〈岸副市長〉パブコメを12月に実施予定とあるが、コロナ禍はまだ記憶に新しいので、パブコメではいろいろな意見が出てくると思う。市民の方の安心に繋がるよう、計画に取り組んでもらいたいと思う。

〈教育長〉感染は完全に防止することができないため、できるだけピークを遅らせて、その間に医療体制を整えてワクチンを開発する。感染症対策はそういった時間稼ぎが非常に大事になる。そういう意味では、初動体制が非常に重要になってくるということも盛り込まれおり、また、地域経済との関わりも見ながら対策を切り換えていくということも記載されているので、内容的には非常に充実したものになっていると思う。

もう1つ気になるのは、このSNS社会の中で、事実に基づかない誤情報に振りまわされるケースが非常に多いということである。「マスクをしても無駄」、「ワクチンではかって害がある」、そういう風評が政府見解や市の広報に関係なくSNSで広まり、市民の方が振りまわされてしまうということがあった。概要にも記載されているEBPMが非常に重要で、感染症が広まった時にはここに一番メインの視点を置き、あくまでもエビデンスに基づいて行動することや、政府見解に基づいてしっかり対応していくことが必要だと思う。平時からこれを意識しつつ取り組んでいてもらいたい。

〈市長〉訓練といったことはしないのか。

〈健康推進課長〉現在は、保健所が実施する研修や実習に参加している。平時から感染症対策への意識

の向上を図ることが重要なので、大阪府が実施する職員向けの研修は利用していきたいと思っている。来年度、庁内マニュアルを改定することになっているので、庁内関係課や関係機関とも協議し、訓練についても実施していきたいと思っている。

〈市長〉年度ごとで体制も変わるので、実際に感染が起こった時に、誰がどのように行動するのかということを、その都度やっていかないといけないと思う。日頃から意識づけを行い、体制を整えておくことが大切である。職員にわかりやすく周知できるようお願いしたい。

〈健康推進課長〉災害対策のようなイメージの訓練についても関係課と協議、検討したい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認する。

令和7年 10 月 24 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 市民健康部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	今般の新型コロナ対応の教訓を踏まえ、約 10 年ぶりに新型インフルエンザ等対策政府行動計画が抜本的に改定されました。 本市においても、政府や大阪府の行動計画の改定内容を踏まえ、岸和田市新型インフルエンザ等対策行動計画改定版の素案を作成しましたので、その内容について付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	市民健康部健康推進課長 中浜
	市民健康部健康推進課参事 西川
	市民健康部健康推進課予防担当 三富士
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和7年度 第3回会議
付議事項	岸和田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

★取組の目的

対象	市民、事業者、行政
どのような状態を目指す	新型コロナ対応で明らかとなった課題等を踏まえ、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等以外も含めた幅広い呼吸器感染症等による危機に対応できる社会をめざす。

★総合計画上の位置付け

2010104	基本目標	健康で自分らしく生きられるまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している
	個別目標の方向性	① 健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める
	行政の役割	疾病などの早期発見と予防を推進する

★現状と課題

令和2年以降、新型コロナが世界的な大流行(パンデミック)を引き起こし令和5年5月に感染症法に基づく5類感染症に位置づけられるまで3年超にわたり、国民の生命及び健康のみならず、経済や社会生活を始めとする国民生活の安定に大きな脅威をもたらした。このように、新興感染症等は国際的な脅威となっており、引き続き世界が新興感染症等の発生のおそれに直面していることや、感染症危機が広がりやすい状況に置かれていることを改めて認識する必要がある。
しかし、こうした新興感染症等の発生時期を正確に予知することは困難であり、また、発生そのものを阻止することは不可能である。このため、平時から感染症危機に備え、より万全な体制を整えることが重要である。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
岸和田市新型インフルエンザ等対策行動計画改定(事業費なし)									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費			計		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
			0		0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有			無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①	—									
②	—									

※事業費及び人員を確約するものではない。